

図書館・美術館の予定

【南部町立図書館 ブックスタート運動】

子ども達にいい絵本を読んでほしい。ブックスタート運動はこの気持ちから生まれました。

福祉保健課と図書館が推進し平成15年からスタートしたブックスタート運動。最初に本を手にしたお子様は、今年高校生になりました。肌のぬくもりを感じながらことばと心を通わす、そのかけがえのないひとときを応援する運動となったこの試みは若い保護者の方が図書館を利用するきっかけにもつながり多くの方が、毎週開催している乳幼児お話会に参加しています。今年度手渡した本「あかちゃん」(ブロンズ社)は月例にあった内容の優しさがとても好評でした。ブックスタートの様子と平成30年度の本紹介をいたします。



(すくすく教室・中期の赤ちゃん)



「あかちゃん」

荒井洋行 著
ほるぷす社
(4月より)



【社会福祉協議会のいきいきサロンに参加！】

2月は、楮根区・峰のいきいきサロンに図書館職員が参加しました。世代を超えたふれあいの中で交流を深めるいきいきサロンは図書館ボランティアをはじめ多くの方が地区の公民館へと出向いています。和やかなひととき、楽しく会に参加してきました。



図書館 4月の予定

・乳幼児リトミック教室

4月11日(水) 午前10時30分～11時30分

・乳幼児お話会 のんたんのへや

4月4・18・25日(水) 午前10時30分～11時30分

・わくわくお話会 (図書館職員)

4月28日(土) 午後1時30分～2時30分

・図書館映画会

4月28日(土) 午後3時～4時(図書館視聴覚室)

広域返却サービスが定着してきました！

「県立図書館で借りた本が南部の図書館で返せるんだって！」そんな会話が口コミで広まり利用が深まりつつあります。駅前図書館として全国的にも知られる山梨県立図書館には南部に所蔵がない本がたくさんあります。研究資料など禁帯出本も場合によっては貸出可能となります。サービスをご活用ください。

美術館

【近藤浩一路作品、春の展示替えのお知らせ】

風景画の中に花をモチーフとして残された作品が多数所蔵されています。どのようにして技法白抜きを試みたのだろうか・・・？独自の水墨技法の中に秘めた光が上品に表現され、思わず独特の世界に引き込まれます。近代の代表的な日本画家として歴史に名を遺した近藤浩一路、その魅力は現在も多くのファンが全国各地に存在し南部町を訪れています。まだご覧いただかない町民の皆様もひょっとしたらいらっしゃるのではないのでしょうか。

ぜひ、美術館で作品を通して春を感じてみませんか？

ご来場をお待ちしています。



新刊・話題本コーナー



【南部町立図書館 貸出状況】

いつもご利用ありがとうございます。

様々な図書館サービスを展開させながら貸出冊数に反映させてきた図書館運営、町民の皆様の利用のおかげで2年連続峡南地区（市川三郷町・身延町）において南部町立図書館が他館を上回り貸出し冊数率が上昇しております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



Delay Effect

宮内悠介 著

大混乱に陥った東京大空襲をもとに描いた小説芥川賞候補となった表題作など全3編を収録

文藝春秋



赤猫

柴田哲孝 著

放火殺人事件の現場から忽然と消えた謎の女「鮎子」の足跡を探す旅とは。

光文社



雲上雲下

浅井まかて 著

日本農業新聞連載を改題、加筆して単行本化。ファンタジー小説。

徳間書店



雪の階

奥泉光 著

戦前昭和を舞台に描くミステリーロマン。『中央公論』連載を単行本化。

中央公論新書



定年オヤジ改造計画

垣谷美雨 著

夢にまで見た定年生活。しかし・・・理想と現実の狭間で家族再生に挑む!

詳伝社



沸点桜(ボイルドフラワー)

北原真理 著

第21回日本ミステリー文学大賞新人賞を受賞。ミステリー小説。 光文社



謎々将棋・囲碁

荒井素子 著

将棋・囲碁をテーマに描いたアンソロジー。将棋界の若者の葛藤を描く。 角川春樹事務所



ちひろの昭和

竹迫裕子 著

いわさきちひろの絵の中に息づく昭和の光景、至福の時間が蘇る。

河出書房新社



味噌大全

渡邊敦光 著

日本の食生活に欠かすことのできない名脇役、味噌のすべてが解る 東京堂出版。



人間の未来 AIの未来

ノーベル賞科学者と史上最強棋士が「10年後、100年後の世界」を予言する。

講談社